

東京学生寮の
入寮生募集中



東京の女子寮に空きがあります。年度途中からの入寮も大歓迎です。御家族、お知り合いに東京で暮らす学生さんがいらっしゃる場合は是非入寮を御検討ください。

- 住居費や食費が高いので何とかしたい。
- 外食が多く、食事の栄養バランスに悩んでいる。
- 一人暮らしが寂しい。
- 同郷の友人と交流したい。



まずは、以下にお問合せください。

問合せ先 (公財)鳥取県英会(県教育委員会人権教育課英語学室内)
電話 0857(26)8375 FAX 0857(26)8176
※学生寮の概要等については、ホームページでご覧頂けます。

「鳥取県高校生等奨学給付金」のご案内
(返還は不要です)

高等学校などに通う低所得者世帯(非課税世帯)を対象に、授業料以外の教育費が支給されます。

- どんな世帯が対象なの？
- 以下の3点すべてに当てはまる世帯が対象です。
- ①市町村民税所得割額非課税または生活保護(生業扶助)受給世帯
 - ②保護者が県内に在住
 - ③就学支援金の対象である学校に在学(特別支援学校と児童入所施設は除きます。)

いくらもらえるの？

給付金額32,300円~138,000円(年1回の給付。申請区分により異なります。)

- どうすれば申請できるの？
- 県内高校に在学している方...7月頃学校から案内があります。
 - 県外高校に在学している方...6月以降に直接下記までお問い合わせください。申請書を送付します。

問合せ先 県教育委員会人権教育課英語奨学室
電話 0857(26)7541 FAX 0857(26)8176



とっとり子どもサミット ~電子メディアとのよい付き合い方編~ **大募集**

スマートフォンやゲーム機は今や生活の一部となり、便利でとても楽しいものです。しかし、使い方を間違えて友だちとトラブルになったり、恐ろしい事件に巻き込まれたりする事例も増えています。また、長時間の使用により生活習慣が乱れて困っている人もいます。みなさん自身で電子メディア機器利用にあたっての課題やルールについて考えてみませんか。

【目的】自分たちでインターネット利用について考え、今後の取組につなげよう

募集対象 小学生~高校生 各会場20名程度 応募締切 平成30年5月31日(木)

各地区でのサミット ●インターネットのよい点悪い点について考えよう
●自分たちができることを考えよう

東部	期日:平成30年6月9日(土)午後 会場:国府町コミュニティセンター(鳥取市国府町380)
中部	期日:平成30年6月23日(土)午前 会場:倉吉体育文化会館(倉吉市山根529-2)
西部	期日:平成30年7月1日(日)午後 会場:米子福祉センターふれあいの里(米子市錦町1丁目139-3)

※会場までの交通費は主催者が負担します。
(主催)鳥取県PTA協議会、鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会、鳥取県教育委員会
(共催)鳥取県高等学校PTA連合会、鳥取県私立中学高等学校PTA連合会、鳥取県特別支援学校PTA連合会
応募方法等、詳しくはHPをご覧ください http://www.pref.tottori.lg.jp/shakaikyoku/

とっとり電子メディアとの付き合い方コンクール

スマートフォン、ゲーム機等の電子メディア機器利用のルールや関わり方についての取組を募集します。生徒会やPTA、中学校区等での取組を、是非応募してください。また、今年度は各家庭でのルールづくりについても募集します。

- 募集対象実践
- 【団体の部】スマートフォン・ゲーム機等の電子メディア機器等(メディアコントロール等の取組も含む)の適切な利用にむけて取り組んでいる実践
【家庭の部】家庭で電子メディア機器等の適切な利用(家庭でのルール、家庭での過ごし方のアイデア等)について取り組んでいる実践
※家庭の部の応募については、チラシを配布する予定です。
- 応募資格
- 【団体の部】鳥取県内の小学生、中学生、高校生、大学生、社会人を主体とする団体・グループ(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の児童会・生徒会・学年、PTA、中学校区の学校・PTA、地域の団体等)
【家庭の部】鳥取県内に在住の小学生、中学生、高校生がいる家庭
応募締切 平成30年8月31日(金)

(主催)鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会、鳥取県教育委員会
(共催)鳥取県PTA協議会、鳥取県高等学校PTA連合会、鳥取県私立中学高等学校PTA連合会、鳥取県特別支援学校PTA連合会
応募方法等、詳しくはHPをご覧ください http://www.pref.tottori.lg.jp/shakaikyoku/

問合せ先 県教育委員会社会教育課 電話0857(26)7943 FAX0857(26)8175

お知らせイベントコーナー

イベント名	開催期間	時間	場所	問い合わせ先	その他
《天体観望会》 春の星を見る会	5月12日(土) ※予備日 5月13日(日)	19:00~ 21:00	県立博物館 前庭	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:不要 定員:なし 対象:なし (中学生以下は保護者同伴)
《アートスタート》 ★草間彌生 わたし大好き	5月12日(土)	14:00~ 15:50	県立博物館 講堂	県立博物館 美術振興課 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:不要 定員:100名 対象:高校生~一般
《アートスタート》 「匠の世界」シリーズ「刀剣編」 鉄に魂を打ち込む 月山貞一 鍛えてしなやかに 髙谷正徳	5月19日(土)	14:00~ 15:00	県立博物館 講堂	県立博物館 美術振興課 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:不要 定員:250名 対象:高校生~一般
《野外観察会》 集めよう!植物・百谷山山跡	5月26日(土)	10:00~ 12:00	鳥取市百谷	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:5月10日(木)~、電話のみで受付 定員:20名 対象:小学生~高校生(一般も可) (小学生は保護者同伴)
《コレクショナー》 in倉吉淀屋	5月26日(土)	11:00~ 15:00	倉吉淀屋 (倉吉市東倉吉 町2280-3)	県立博物館 美術振興課 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:不要 定員:40名 対象:小学生~一般
《ワークショップ》 カエルになろう!	6月2日(土)	14:00~ 16:00	県立博物館 会議室	県立博物館 美術振興課 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:5月18日(金)~、電話のみで受付 定員:10名 対象:幼児~小学生(小学生以下は保護者同伴)
《ギャラリートーク》企画展 「大なる神仏の山 大山」	6月3日(日)	11:00~ 12:00	県立博物館 展示室	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:企画展観覧料 申込:不要 定員:なし
《ギャラリートーク》 コレクション展	6月9日(土)	14:00~ 15:00	県立博物館 美術常設展示室	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:常設展観覧料 申込:不要 定員:なし 対象:高校生~一般
《アートセミナー》 1950年代を考える	6月16日(土)	14:00~ 15:30	県立博物館 会議室	県立博物館 美術振興課 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:不要 定員:40名 対象:高校生~一般
《アートスタート》 「匠の世界」シリーズ 陶芸展 特集上映	6月23日(土)	①13:00~ ②14:00~ ③15:00~ (各52分)	県立博物館 講堂	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:不要 定員:250名 対象:高校生~一般
《ギャラリートーク》企画展 「大なる神仏の山 大山」	6月24日(日)	11:00~ 12:00	県立博物館 展示室	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:企画展観覧料 申込:不要 定員:なし
《ギャラリートーク》企画展 「ととりの化石EXPO!」	7月15日(日)	10:00~11:00 14:00~15:00	県立博物館 展示室	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:企画展観覧料 申込:不要 定員:なし
《自然講座》 化石レプリカをつくらう!	7月22日(日)	10:00~ 12:00	県立博物館 会議室	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:7月5日(木)~、電話のみで受付 定員:20名 対象:幼児~小学生(保護者同伴)
《野外観察会》 昆虫観察入門 ~街灯に集まる虫たち~	7月28日(土)	19:00~ 21:00	県立博物館 周辺	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:7月12日(火)~、電話のみで受付 定員:30名 対象:幼児~小学生(保護者同伴)
《歴史講座》 オリジナルの和紙とつくろう	7月29日(日)	10:00~ 12:00	県立博物館 会議室	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:7月12日(火)~、電話のみで受付 定員:20名 対象:小学生のみ(保護者同伴)
特別講演会「世界の魚類化石シラカンスから国府町下まで(仮)」	7月29日(日)	14:00~ 16:00	県立博物館 講堂	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込:不要 定員:250名 対象:一般

よりよい紙面づくりのために
ご意見をお寄せください。

問合せ先 送り先
〒680-8570(住所記載不要)県教育委員会教育総務課
電話 0857(26)7926 FAX 0857(26)8185 E-MAIL kyouikusoumu@pref.tottori.lg.jp
バックナンバーはホームページでご覧いただけます。 http://www.pref.tottori.lg.jp/yumehiroba

教育だより
とっとり 夢 ひろば!

Vol.92
平成30年5月
編集・発行
鳥取県教育委員会
年5回発行

目次

教育長あいさつ「子どもたちは地域の宝、地域の未来」.....	1	熱中症の予防と対応について/児童生徒の健康づくりについて.....	5
「未来を「つくる」美術館」整備に向けて.....	1	鳥取県教育支援センター「ハートフルスペース」.....	5
平成30年度 鳥取県教育委員会の主な取組.....	2・3	【子ども県政コーナー】「星取県」って?.....	6・7
学習指導要領が変わります.....	4	【トピックコーナー】.....	8
「県立高等学校重点校」制度がスタートしました!.....	4	●東京学生寮の入寮生募集中 ●「鳥取県高校生等奨学給付金」のご案内	
心とからだいきいきキャンペーン.....	5	●とっとり子どもサミット ●とっとり電子メディアとの付き合い方コンクール	
		●お知らせ・イベントコーナー	

教育長あいさつ「子どもたちは地域の宝、地域の未来」



鳥取県教育委員会
教育長
山本仁志

新学期が始まり、児童・生徒の皆さんは気持ちも新たに学校生活のスタートを切られたことと思います。少子高齢化、グローバル化の進行やAI(人工知能)の発展の中、これからの教育には子どもたちの学ぶ意欲を高め、知識・技能を習得させることに加えて、様々な変化に積極的に向き合い他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極めて再構成し新しい考えや価値を生み出していけるようにすることなどが求められます。こうしたことを踏まえて鳥取県では、「教育に関する大綱」や「鳥取県教育振興基本計画~未来を拓く教育プラン~」に基づき、少人数学級を生かした主体的な学びによる学力向上や体力向上、グローバル化に対応した英語教育の充実、土曜授業等の取組、ICTを活用した教育の充実、特別支援教育の充実などに取り組んでまいります。また、「子どもたちは地域の宝、地域の未来」「地域の子どもは地域で育てる」という認識のもと、学校・家庭・地域が互いに連携・協力し、地域の未来を担う子どもたちの成長を地域全体で見守り、支えていくため、コミュニティスクールや学校支

援ボランティアなどの取組を進めるとともに、地域や地元企業と連携したキャリア教育やふるさと教育の充実などを進めてまいります。先般、鳥取県と姉妹交流関係にある韓国江原道の平昌で開催された冬季オリンピック・パラリンピックでは、日本代表選手が大活躍しました。銅メダルを獲得したカーリング女子チームの吉田知那美選手は地元北見市常呂町での報告会で「この町、何も無いよね。小さい頃はここにいたら夢は叶わないんじゃないかと思ってました。でも今は、この町じゃなきゃ夢は叶わなかったと思います。」といった趣旨の地域の皆様への感謝のスピーチをされ、大きな感動を呼んでいました。鳥取県は人口最少の小さな県ではありますが、本県の子どもたちにも保護者の方々や教職員をはじめ地域の皆様を支えられながら夢に向かって大きく羽ばたいてもらえるような、そんな教育を進めることができると思います。子どもたちは様々な可能性を秘めています。それぞれの夢の実現に向けてチャレンジし、失敗を重ねながらも可能性を最大限に発揮して伸びてゆく子ども、家庭や郷土の絆の中で大切にされつつ伸びゆく子どもを、この鳥取の地で県民の皆さんと一緒に育て、見守り育ててまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

『未来を「つくる」美術館』整備に向けて

これから新しく県立美術館を倉吉市営ラグビー場(倉吉パークスクエア隣接)に整備します。県中部は全県から集まりやすく、美術館側からも各地域に出かけやすい場所であり、子どもたちをはじめ多くの人に美術館を利用していただけると考えています。「未来を「つくる」美術館」をコンセプトに、これまでの県立博物館の美術部門を引き継ぎ、新しい美術館ではさらに充実した事業を展開していきます。

これからの時代に求められる他者理解等のコミュニケーション力を育むことを目的としています。美術のみならず様々な教科への展開を図るなど、まずは学校教育との連携に重点を置いて支援を行います。やがては、さらに幅広い世代や属性の方々の支援にも取組みを広げることを想定しています。

デジタルコンテンツを試行するなど美術館活動の効果を実行して波及していきます。

＝年齢に応じた「美術を通じた学び」＝
・未就学児「美術と出会う」
・小学生「美術に触れる」
・中学生「美術を深める」
・高校生や大学生等「美術と関わる」

県内どこでも美術館サービスが受けられるように
県立美術館を拠点に県内の美術系文化施設が協力連携し、県内どこにいても美術館のサービスが受けられる環境づくりを強化します。



紙コップ1万個を使ったワークショップ

全国に誇れる「美術ラーニングセンター」の設置
県立美術館の特色として、「美術を通じた学び」の支援を行う「美術ラーニングセンター(仮称)」機能を設けます。現在の県立博物館で実施している教育普及機能を充実させ、子どもたちの想像力・創造性や、

開館に向けて
県立美術館の開館は数年後ですが、美術作品を学校や商業施設等で展示・解説等を行う「コレクション宅」を実施したり、対話型鑑賞教育に有効な



巨大バルーンを使って遊ぶワークショップ

問合せ先 鳥取県立博物館 美術館整備準備室 電話 0857(26)8042 FAX 0857(26)8041 http://www.pref.tottori.lg.jp/museum/